

# JIS

## 建築用ドア金物の試験方法— 第2部：ドア用金物

JIS A 1510-2 : 2001

(JTCCM/JSA)

平成13年3月20日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## まえがき

この規格は、工業標準化法第12条の規定に基づき、財団法人建材試験センター(JTCCM)/財団法人日本規格協会(JSA)から工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。これによってJIS A 1511 : 1995は廃止され、JIS A 1510-2に置き換えられる。

JIS A 1510の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS A 1510-1 第1部：錠

JIS A 1510-2 第2部：ドア用金物

JIS A 1510-3 第3部：フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 13. 3. 20

官 報 公 示：平成 13. 3. 21

原 案 作 成 者：財団法人 建材試験センター [〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2丁目9-8 : TEL 03-3664-9211  
(代表)]

財団法人 日本規格協会 (〒107-8440 東京都港区赤坂4丁目1-24 : TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 建築部会 (部会長 菅原 進一)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省 産業技術環境局標準課 産業基盤標準化推進室 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3-1 : TEL 03-3501-1511(代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 建築用ドア金物の試験方法— A 1510-2 : 2001

## 第2部：ドア用金物

Test method for door fittings of buildings—  
Part 2 : Fittings for door

1. 適用範囲 この規格は、建築物の開口部の戸に用いる金物のうち、丁番、グラビティヒンジ、戸当たり、上げ落とし、用心鎖及びガードアームの試験方法について規定する。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

JIS A 4702 ドアセット

JIS B 7503 ダイヤルゲージ

JIS B 7507 ノギス

JIS B 7524 すきまゲージ

JIS B 7721 引張試験機一力の検証方法

JIS B 7733 圧縮試験機一力の検証方法

JIS Z 8401 数値の丸め方

JIS Z 8703 試験場所の標準状態

3. 定義 この規格で用いる主な用語の定義は、次による。

a) グラビティヒンジ トイレブースなどに使用するせりあがり丁番。閉扉は戸の自重によって行われる。

b) ガードアーム 鎖の代わりに棒状、ループ状又は板状の部品を用いて開扉を制限するドア用金物。

4. 試験の項目 試験の項目は、表1による。

表1 試験の項目

試験の項目	評価対象	適用試験箇条
丁番及びグラビティヒンジの繰返し開閉試験	繰返し使用に対する耐摩耗性	6.1
戸当たりの衝撃試験	衝撃に対する強さ	6.2
上げ落しの落とし棒の押込み試験	押込み荷重に対する強さ	6.3
上げ落しの落とし棒の衝撃試験	衝撃に対する強さ	6.4
用心鎖及びガードアームの引張試験	引張荷重に対する強さ	6.5

5. 試験の一般条件

5.1 数値の丸め方 数値の丸め方は、JIS Z 8401による。